

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-73	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
明治 117	言 文 711	精選 言語文化		

### 1. 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「2. 対照表」に示した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。  
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。  
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「言語文化」は、「我が国の言語文化の成り立ちを知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自分の言葉のルーツを知る」というゴールを目指せるようにした。  
最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

### 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	我が国の言語文化について書かれた文章を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うができるようにした。(第1号)	2頁～5頁
古文編	古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。(第1号) 古文に関する近代以降の文章とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号)  我が国で長く読み継がれてきた優れた物語を採録し、人物の心情を読み取り、互いの解釈を認め合うことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにした。(第2号)	18頁～19頁、22頁～23頁、26頁～27頁、40頁～42頁、51頁～53頁、95頁～96頁 43頁、54頁～55頁、71頁、81頁～83頁、97頁、105頁  16頁～25頁、46頁～50頁、58頁～70頁、86頁～94頁

	<p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号)</p> <p>古人の思想や社会秩序に関する題材を採録し、先の見えない現代社会を生きるうえでその発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号)</p> <p>古人の自然観に関する題材を採録し、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにした。(第4号)</p> <p>我が国の言語文化に関して書かれた題材を採録し、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)</p> <p>関心を持った我が国の古跡や伝統行事を題材として、随筆を書く活動を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)</p>	<p>28頁、44頁、56頁、72頁、84頁、98頁、111頁～112頁</p> <p>30～35頁、38頁、74～82頁</p> <p>36～37頁、100～107頁</p> <p>108～109頁</p> <p>111頁～112頁</p>
漢文編	<p>漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。(第1号)</p> <p>漢文に関する近代以降の文章とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号)</p> <p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号)</p> <p>古代中国の思想や社会秩序に関する題材を採録し、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号)</p> <p>古代中国の史伝教材を採録し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学び、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号)</p> <p>四季や人生に関する題材を採録し、生命を尊び、自然を大切にすることを養うことができるようにした。(第4号)</p> <p>漢文を学ぶ意義を解説した文章に触れることで、我が国の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)</p>	<p>117頁～124頁</p> <p>127頁、131頁、144頁～145頁、162頁～163頁、174頁～175頁</p> <p>125頁、132頁、146頁、164頁、176頁</p> <p>166頁～176頁</p> <p>134頁～143頁</p> <p>148頁～155頁</p> <p>116頁</p>
近現代文編	<p>幅広い知識と教養を身に付け、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、「明治期の文語文と口語文」のコラムを設けた。(第1号・第5号)</p> <p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号)</p>	<p>177頁～180頁</p> <p>208頁、232頁、256頁</p>

	<p>真理を求める態度、豊かな情操、道徳心、自他の敬愛を重んずる態度を養うために、優れた複数の文学作品を採録し、理解を深める活動を設けた。(第1号・第3号)</p> <p>死について考察する内容の文学作品を採録し、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号)</p> <p>伝統と文化を尊重する態度を養うために、近代の小説と中古の説話とを読み比べる活動を設けた。(第5号)</p>	<p>182頁～256頁</p> <p>196頁～207頁</p> <p>194頁～195頁</p>
詩歌編	<p>古典和歌から近現代詩を通して学ぶことで、幅広い知識と教養、豊かな情操、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養えるようにした。(第1号・第5号)</p> <p>単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号)</p> <p>優れた和歌・俳諧・短歌・俳句・近現代詩の読解を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにした。(第4号)</p> <p>折句の技法を用いて、短歌を作る活動を設けることで、創造性を培い、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第2号・第5号)</p>	<p>258頁～298頁</p> <p>273頁～274頁、284頁、298頁</p> <p>258頁～264頁、268頁～272頁、276頁～282頁、286頁～292頁、294頁～297頁</p> <p>273頁～274頁</p>
おわりに	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、「文学史」という「歴史」について書かれた文章を採録し、より理解を深める活動を設けた。(第5号)</p> <p>「自分の文学史」を作る活動を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培うことができるようにした。(第2号)</p>	<p>299頁～307頁</p> <p>307頁</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

--

# 編 修 趣 意 書

## (学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-73	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
明治 117	言文 711	精選 言語文化		

### 1. 編修上特に意を用いた点や特色

#### 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。  
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。  
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「言語文化」は、「我が国の言語文化の成り立ちを知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自分の言葉のルーツを知る」というゴールを目指せるようにした。  
最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

#### 単元の構成

- 単元の構成は、古文編・漢文編・近現代文編・詩歌編の分野別とした。
- とりわけ詩歌編では、我が国の上代から近現代までの詩歌を、ジャンルと時代のまとまりごとに学習できるようにした。
- 教材は、「言語文化」が、中学校三年間の国語学習の延長上にあり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るという見地から、教材選択に当たっては、読解に困難を伴うもの、語句・表現の理解に抵抗の多い教材はできるだけ避けるよう配慮した。また、二次元コードを示し、教材に関連する音声を用意した。

#### 〔知識及び技能〕

- 「深い学びのために」の主に「言葉と表現」で、言葉の特徴や使い方に関する問題と、語句や文法の知識を整理する問題を設けた。
- 注の欄に、古文・古典詩歌（和歌・俳諧）、漢文では、重要単語を掲げ、付録にそれぞれ「重要古語の解説および索引」「漢文の重要単語」を設けた。さらに漢文編では、重要句形を掲げ、付録に「漢文の基本句形」を設けた。  
古文編では、「古文を読むために」を設け、古文の読解に資するように、文語の決まりをまとめた。  
これらにより古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できるようにした。
- 近現代の文章・詩歌（短歌・俳句・近現代詩）では、知っておきたい語句、慣用句などを掲げ、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにできるようにした。
- 近現代文編の文章の末尾に「漢字熟語」、付録に「常用漢字表」を設け、「現代の国語」の指導との関連も図りながら、常用漢字の学習に資するようにした。
- 「付録」に「読書のすすめ」を設け、読書の意義と効用について理解を深める助けとした。

#### 〔思考力・判断力・表現力等〕

- 「A書くこと」「B読むこと」については、「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で実践的な活動を設けた。
- 「深い学びのために」の「言語活動」と「単元の言語活動」では、学習指導要領に示された、「言語活動例」に即して、「2. 対照表」に示した実践的な活動を設けた。その際、〔知識及び技能〕との関連を図れるよう配慮した。また、分野や単元を超えた、有機的なつながりを意識し、より深い学びを達成できるよう配慮した。
- 「A書くこと」については、我が国の言語文化について考察し、考察した内容を効果的に書く能力を養える活動を設けた。
- 「B読むこと」については、古文編と漢文編に、古典に関連する近代以降の文学的な文章を掲げ、古典教材をより深く理解する助けとした。
- 教科書の最初に「はじめに」として、これから学習する我が国の言語文化について、生徒が興味を抱いて学習することができる文章を掲げた。さらに、最後に「おわりに」として、我が国の伝統と文化に関する近代以降の文章を掲げ、これまで学習したことを振り返りながら、主体的に我が国の言語文化についての理解を深められるようにした。

#### 〔学びに向かう力・人間性等〕

- 下記のような自ら学び続ける工夫を施した。
  - ・「単元扉」を設け、単元のねらいを示し、学習を見通すだけでなく、学習を振り返る際にも役立つようにした。
  - ・「深い学びのために」「単元の言語活動」を通して、各領域の指導事項・言語活動を主体的・対話的に学習できるようにし、我が国の言語文化について、自ら学び続けられるように工夫した。

以上の〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力・人間性等〕を支援することにより、生涯にわたる社会生活に必要な資質・能力を確実に育成できる教科書である。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容								配当時数		
		知識及び技能	思考力判断力表現力		内容の取扱い				該当箇所	A	B	
			A 書くこと	B 読むこと	(1)	(2)	(3)	(4)			古典	近代以降
平安京条坊図・大内裏・内裏	(1)									見返し1		
	(2)	イ										
京都付近図	(1)									見返し2		
	(2)	イ										
旧国名・都道府県名対照図	(1)									見返し3		
	(2)	イ										
はじめに	(1)	ア								P. 2～5		
	(2)	ア										
1 古文入門	宇治拾遺物語 児のそら寝	(1)	ア	ウ	エ				イ		P. 16～17	2
		(2)	イ	ウ	エ							
	古文を読むために1	(1)	ア	ウ	エ				イ		P. 18～19	
		(2)	ウ	エ								
	絵仏師良秀	(1)	ア	ウ	エ				イ		P. 20～21	
		(2)	イ	ウ	エ							
	古文を読むために2	(1)	ア	ウ	エ				イ		P. 22～23	
	(2)	ウ	エ									
十訓抄 大江山	(1)	ア	ウ	エ	オ			ア	イ	エ	オ	P. 24～25
	(2)	イ	ウ	エ								
古文を読むために3	(1)	ア	ウ	エ				ア			P. 26～27	
	(2)	ウ	エ						イ			
単元の言語活動1 声に出して古文を読む	(1)	ア	ウ	エ				ア	ウ		P. 28	
	(2)	ウ	エ						イ	イ		
2 随筆	徒然草 亀山殿の御池に	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	ウ	オ	P. 30～31
		(2)	イ	ウ	エ				イ			
	大事を思ひ立たん人は	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	ウ	オ	P. 32～33
		(2)	イ	ウ	エ				イ			
	奥山に猫またといふものありて	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	ウ	オ	P. 34～35
		(2)	イ	ウ	エ				イ			
	花は盛りに	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	ウ	オ	P. 36～38
	(2)	イ	ウ	エ				イ				
参考 つれづれなるままに	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ			P. 38～39	
	(2)	イ	ウ	エ					イ	イ		
古文を読むために4	(1)	ア	ウ	エ			ア				P. 40～42	
	(2)	ウ	エ						イ			
古文の窓1	(1)						ア				P. 43	
	(2)	イ							イ			
単元の言語活動2 作者の主張を読み取る	(1)	ア	ウ	エ			ア			オ	P. 44	
	(2)	イ						イ				
3 物語1	竹取物語 かぐや姫の生ひ立ち	(1)	ア	ウ	エ	オ		ア	イ	エ		P. 46～48
		(2)	イ	ウ	エ				イ	イ		
	かぐや姫の嘆き	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 48～50
		(2)	イ	ウ	エ					イ		
	古文を読むために5	(1)	ア	ウ	エ			ア				P. 51～53
	(2)	ウ	エ						イ			
古文の窓2	(1)						ア				P. 54～55	
	(2)	イ							イ			
単元の言語活動3 月が詠まれた和歌を鑑賞する	(1)	ア					イ	エ	オ		P. 56	
	(2)	イ						オ				
4 物語2	伊勢物語 茶川	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 58～60
		(2)	イ	ウ	エ				イ			
	東下り	(1)	ア	ウ	エ	オ		ア	イ	エ		P. 60～63
		(2)	イ	ウ	エ					イ		
	筒井筒	(1)	ア	ウ	エ	オ		ア	イ	エ		P. 64～66
		(2)	イ	ウ	エ				ウ			
	読み比べ 沖つ白浪（『大和物語』）	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 67～68
	(2)	イ	ウ	エ				ウ				
梓弓	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 69～70	
	(2)	ウ	エ						イ			
古文の窓3	(1)								イ		P. 71	
	(2)	イ										
単元の言語活動4 視点を変えて、物語を書き換える	(1)	ア					イ			オ	P. 72	
	(2)							エ				
5 日記	土佐日記 門出	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 74～76
		(2)	ウ	エ	オ					イ	イ	
	阿倍仲麻呂	(1)	ア	ウ	エ	オ		ア	イ	エ		P. 77～78
		(2)	ア	ウ	エ	オ				イ		
	帰京	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 79～80
		(2)	ウ	エ	オ					イ		
男の文章と女の文章	(1)	ア	ウ	エ	オ		ア		エ		P. 81～82	
	(2)	ウ	エ	オ				イ	イ			
古文の窓4	(1)	ア	ウ	エ					イ	イ	P. 83	
	(2)	イ	ウ	エ	オ							
単元の言語活動5 変体仮名を読む	(1)										P. 84	
	(2)	イ					ア					
6 物語3	平家物語 木曾の最期	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 86～93
		(2)	ウ	エ	オ					イ		
	参考 祇園精舎	(1)	ア	ウ	エ			ア	イ	エ		P. 94
		(2)	ウ	エ	オ					イ	イ	
	古文を読むために6	(1)	ア	ウ	エ			ア				P. 95～96
	(2)	ウ	エ	オ					イ			
古文の窓5	(1)								イ		P. 97	
	(2)	イ		オ								
単元の言語活動6 人物の心情を想像して「木曾の最期」を脚本化する	(1)			エ	オ		イ			オ	P. 98	
	(2)	ウ							イ	オ		

7 近世の文学	おくのほそ道 旅立ち	(1) ア ウ エ		ア イ エ		イ	イ		P. 100~101	2	
		(2) ア ウ エ									
	平泉	(1) ア ウ エ		ア イ エ		イ			P. 103~104		
		(2) ア ウ エ									
	古文の窓 6	(1)				イ			P. 105		
		(2) イ									
種の涙	(1) ア ウ エ		ア イ エ		イ			P. 106~107			
	(2) ウ エ										
玉勝間 田舎に雅言の残れること	(1) ア ウ エ		ア イ		イ			P. 108~110			
	(2) ウ エ										
単元の言語活動 7 歴史を再発見し、随筆を書く	(1) ア	ア イ			ア		ア	P. 111~112			
	(2)	ア									
文学と芸能	(1)		エ		エ	オ		P. 113~114			
	(2) イ				イ						
1 漢文入門	なぜ漢文を学ぶのか	(1) ア				オ		P. 116			
		(2) ア	エ								
	訓読の世界	(1) ア ウ		ア		イ		P. 117~123			
		(2) ア ウ エ									
	漢和辞典の使い方	(1) ア ウ				イ		P. 124			
		(2) ウ エ									
	単元の言語活動 1 熟語の意味「創作」ゲームを行う	(1) ウ			オ	イ		P. 125			
		(2) ウ			オ						
	故事成語 蛇足	(1) ウ エ		イ		イ		P. 126~127			
		(2) ウ エ		イ							
	漢文の窓 1	(1) ウ				イ		P. 127			
(2) イ											
朝三暮四	(1) ウ エ		イ		イ		P. 128~129				
	(2) ウ エ		イ								
断腸	(1) ウ エ		ア イ	オ	イ		P. 130				
	(2) イ ウ エ			エ							
漢文の窓2	(1)				イ		P. 131				
	(2) エ										
単元の言語活動 2 故事成語を「五・七・五」で表現する	(1) ア ウ			オ			P. 132				
	(2) ア ウ エ			オ							
2 史伝	十八史略 先従隗始	(1)		ア イ		イ		P. 134~135			
		(2) ウ エ		イ							
	鶏口牛後	(1) ウ		ア		イ		P. 136~137			
		(2) イ ウ		イ							
	管鮑之交	(1) イ ウ		ア イ		イ		P. 138~139			
		(2) ウ		イ							
臥薪嘗胆	(1) ウ		ア イ		イ		P. 140~143				
	(2) ウ		イ								
中国英傑伝	(1)		ア イ	エ	イ		ア P. 144~145				
	(2) イ										
単元の言語活動 3 登場人物の魅力を紹介する	(1) イ		イ				P. 146				
	(2) イ		イ								
3 詩文	詩 春曉・参考 春あけぼの・江南 ・秋風引・江雪	(1) イ ウ		ア イ	オ	イ		P. 148~149			
		(2) ウ		イ							
	送元二使安西・勸酒・参考 コ ノサカヅキヲ・涼州詞・静夜思	(1) ウ		イ ウ		イ		P. 150~151			
		(2) ウ		イ							
	春望・八月十五日夜、禁中独 直、对月憶元九	(1) ウ		ア イ ウ エ		イ		P. 152~153			
		(2) ア イ ウ		イ							
	富士山・鳥児塞宮	(1) ア ウ		ア イ ウ エ		イ	ア	P. 154~155			
		(2) ア イ ウ		イ							
	漢詩の手引き	(1)				イ		P. 156~157			
		(2) イ ウ エ									
文 雑説	(1) ウ		ア イ ウ		イ		P. 158~159				
	(2) ウ		イ								
春夜宴桃李園序	(1) ウ エ		ア ウ エ		イ		P. 160~161				
	(2) ア イ ウ		ウ								
名月——八月の詩	(1)		ア イ	オ	イ		ア P. 162~163				
	(2) イ										
単元の言語活動 4 漢詩漢文の表現の特徴をつかむ	(1) ア		ウ エ		イ		P. 164				
	(2) ア イ ウ		ア								
4 思想	論語	(1) ウ		イ		イ	イ	P. 166~171			
		(2) ウ エ		イ							
	慎思録	(1) ウ エ		ア イ ウ エ		イ	ア	P. 172~173			
		(2) ア ウ		イ							
	笑話出思録	(1) ウ エ		イ ウ		イ	ア	P. 173~174			
(2) ウ			イ								
知るといふこと	(1) イ エ		ア	オ	イ	ア	P. 174~175				
	(2) ア										
単元の言語活動 5 『論語』の言葉を今に生かす	(1) ア		ウ	オ			P. 176				
	(2) ア		イ								
参考 明治期の文語文と口語文	(1) ア		ア			ア	P. 177~180				
	(2) ア	エ	オ								
1 近代 1	羅生門	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 182~194			
		(2) ア		ウ							
	読み比べ 「羅城門の上層に登りて死人を 見る盗人の語」(『今昔物語 集』)	(1) ア ウ エ		ア イ ウ エ				P. 195			
		(2) イ エ		ウ							
城の崎にて	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 196~207				
	(2) ア										
単元の言語活動 1 フィクションの特性を話し合う	(1) ア	エ	イ	ウ			P. 208				
	(2) ア	エ	イ								

2 近代2	待つ	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 210～214			2	
	うそとパン	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 215～220				
	写真班	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 221～231				
	単元の言語活動2 作家の工夫を意識して文章を書く	(1) ア エ		ウ				P. 232				1
3 現代	青が消える	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 234～242			2	
	離さない	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 243～255				
	単元の言語活動3 話し合うと何が起るか確かめる	(1) ア エ		オ				P. 256				1
		(2) ア エ		イ								
1 和歌・短歌	和歌	(1) ア ウ オ		ア イ ウ エ		イ		P. 258～264			3	
	和歌の修辭	(1) ア ウ オ		イ ウ		イ		P. 265～266				
	詩歌の窓	(1) ア オ		ア イ ウ エ		イ		P. 267				
	短歌	(1) ア ウ オ		ア イ ウ エ				P. 268～272				
	単元の言語活動1 折句の技法を用いて、短歌を作る	(1) ア オ	ア			ア		P. 273～274				3
		(2) ア エ	ア									
2 俳諧・俳句	俳諧	(1) ア ウ オ		ア イ ウ エ		イ		P. 276～277			1	
	俳句	(1) ア ウ オ		ア イ ウ エ				P. 278～282				
	俳句の修辭	(1) ア オ		ア イ ウ エ				P. 282				
	俳句の英訳	(1) ア オ		イ	ウ		ア	P. 283				
	単元の言語活動2 H A I K Uを鑑賞する	(1) ア オ		オ				P. 284				
		(2) ア エ		エ								
3 近現代詩	小景異情	(1) ア ウ		ア イ ウ エ				P. 286～287			2	
	およぐひと	(1) ア ウ		ア イ ウ エ				P. 288				
	永訣の朝	(1) ア ウ		ア イ ウ エ				P. 289～292				
	参考 人生の〈救い〉としての詩	(1) ア		オ	ウ			P. 293				
		(2) ア カ										
	汲む	(1) ア ウ		ア イ ウ エ				P. 294～297				
単元の言語活動3 文語定型詩と口語自由詩を読み比べる	(1) ア オ		イ	オ			P. 298	1				
	(2) ア エ		オ									
おわりに	大人にはわからない日本文学史	(1) ア イ ウ エ		ア イ ウ エ オ	ウ	ア	ア	P. 299～306			1	
	単元の言語活動 「自分の文学史」を作る	(1) ア		オ				P. 307				1
		(2) ア エ		ア								
付録	文法要覧	(1)						P. 308～317				
		(2) ウ										
	日本文学史年表	(1)						P. 318～326				
		(2) ア										
	重要古語の解説および索引	(1)						P. 327～332				
		(2) ウ										
	漢文の基本句形	(1)						P. 333～334				
		(2) ウ										
	漢文の重要単語	(1)						P. 335～336				
		(2) ウ										
常用漢字表・常用漢字表付表	(1) イ				ア	ア	P. 337～351					
	(2)											
読書のすすめ	(1)						P. 352～355					
	(2) カ											
参考図録	(1)						P. 356～359					
	(2) イ											
古典参考図録	(1)						口絵1～口絵3					
	(2) イ											
近代の文学 人と作品	(1)						口絵4～見返し4					
	(2) エ											
中国新旧参考地図	(1)						見返し5～6					
	(2) イ											
領域別計									5	45	20	
計									70			